

# 流量・流速関連の国際協力と 国際相互承認のための活動報告

(令和7年度第1回国際計量研究連絡委員会流量標準分科会)

#### 嶋田隆司 / SHIMADA Takashi

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 副研究部門長

### 国際相互承認のための活動





#### 背景

- メートル条約(1875年):単位の国際統一を目的、日本は1885年加盟
- 主な機関:CGPM(国際度量衡総会), CIPM(国際度量衡委員会), BIPM(国際度量衡局)

#### CIPM MRA (CIPM相互承認取決め) 1999年締結

- 各国の国家計量標準の同等性を確認
- 校正・測定証明書の相互承認→ 国際貿易・商業・法制度の信頼基盤

#### 実施の仕組み

- 国際比較(Key Comparison):同等性の確認
- 校正測定能力(CMC):能力を登録・公開(KCDB)

#### 地域・分野活動

- CCM-WGFF(質量関連量諮問委員会 流量・流速作業部会):流量・流速分野を担当
- APMP-TCFF(アジア太平洋計量計画 流量・流速技術委員会):地域協力を推進

#### NMIJの役割

● 日本の国家計量標準機関として、国際比較・CMC登録を通じ、国際相互承認(CIPM MRA)の信頼性を維持

### メートル条約に基づく組織の概略





#### メートル条約 国際度量衡総会(CGPM)

全加盟国代表で構成され、約4年ごとにパリ郊外で開催

#### 理事機関

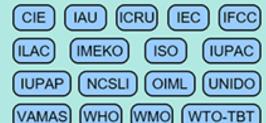
#### 国際度量衡委員会(CIPM)

国籍を異にする18名で構成され、ほぼ毎年パリ郊外で開催

#### 日本:

臼田孝 委員会幹事

### 関連国際機関



#### 国際度量衡局(BIPM)

- 事務局業務
- ·研究業務
- 原器の管理
- 国際誌の編集



### 諮問委員会(CC)

国際度量衡総会から国際度量衡委員会に委託された標準に 関する国際的な研究課題を、具体的に検討

## CCM-WGFF





#### 諮問委員会(CC)



### 作業部会 (WG)



**CCM-WGFF** (質量関連量諮問委員会 流量・流速作業部会)

Chair: Dr. Bodo Mickan (PTB, ドイツ)

#### CCM-WGFF会議



## 2024年10月28, 29日:ハイブリッド開催(オンライン参加)

- メンバーシップの更新確認
- 基幹比較の進捗状況報告及び新規基幹比較の提案(K4:体積、K5:気体流量、K3:風速、K6:微小気体流量、Pilot study:水素流量)
- CMC review protocol更新に関する議論

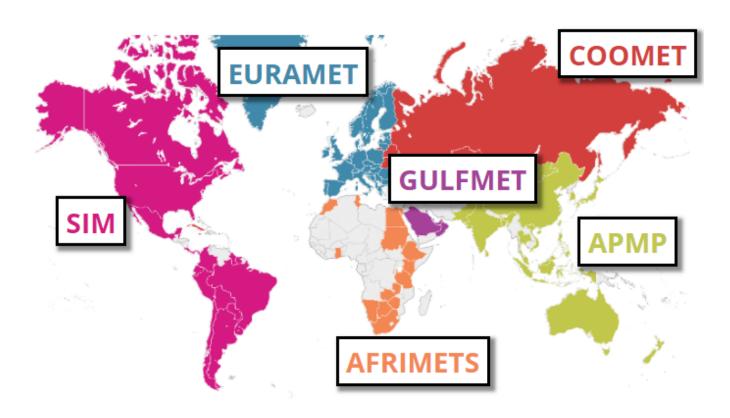
### 2025年6月24日:ハイブリッド開催(オンライン参加)

- メンバーシップの更新確認
- 基幹比較の進捗状況報告(K1:水流量、K3:風速、K4:体積、K5:気体流量、 Pilot study:水素流量)
- DCCに関する議論
- CMC review protocol更新に関する議論

## アジア太平洋計量計画 (APMP)



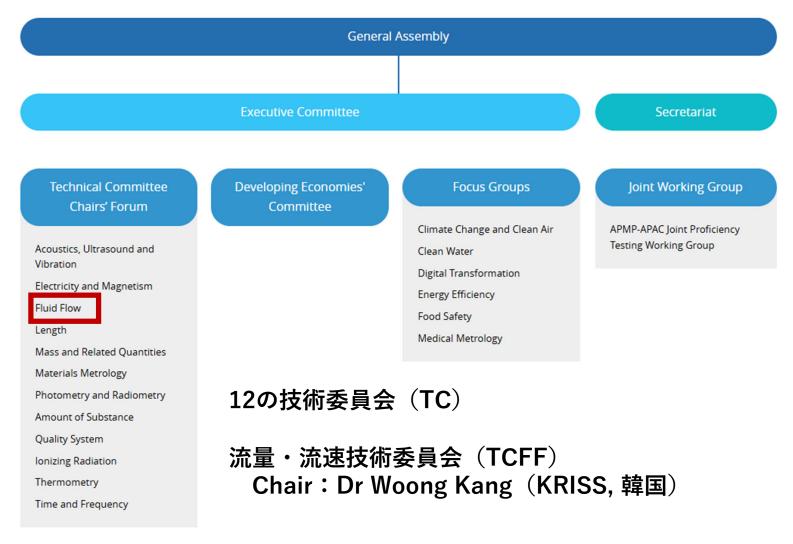




地域計量組織(RMO:Regional Metrology Organization)

## アジア太平洋計量計画 (APMP)





### APMP-TCFF会議





- 国際比較の進捗報告(K1~K6, S2, S3)及び議論
- テクニカルピアレビュー、CMCレビューに関する議論
- APMP MRAガイドライン改訂:「5年間有効|ルールの明確化
- 各国(NMI)からの活動報告

(予定) 2025年11月24, 25日@仁川(韓国):現地参加

## CIPM基幹比較及びAPMP基幹比較





CIPM基幹比較(CIPM KC)				APMP基幹比較(APMP KC)				
名称	量	範囲	NMIJ 対応状況	状況		範囲	NMIJ 対応状況	状況
CCM.FF- K1.2015	水流量	$30 \text{ m}^3/\text{h to}$ $200 \text{ m}^3/\text{h}$	参加	同等性承認	APMP.M.FF-K1P		Pilot予定	
CCM.FF- K1.2022	水流量	$0.1~\mu\text{L/min}$ to $10~\mu\text{L/min}$	参加	同等性承認				
CCM.FF- K1.2024	水流量	$100 \text{ m}^3/\text{h to}$ $2100 \text{ m}^3/\text{h}$	参加	測定中				
CCM.FF- K2.2011	水流量/ 石油流量	5 kg/min to 60 kg/min	参加	同等性承認	APMP.M.FF- K1.1.2022 APMP.M.FF-K2.2P	水流量石油流量	参加 Pilot予定	Draft B
CCM.FF- K2.2015	石油流量	$60 \text{ m}^3/\text{h to}$ $300 \text{ m}^3/\text{h}$	参加 (Pilot)	同等性承認	APMP.M.FF- K2.2021	30 m <sup>3</sup> /h to 180 m <sup>3</sup> /h	参加 (Pilot)	測定中
CCM.FF- K3.2011	風速	0.5  m/s to 40 m/s	参加	同等性承認	APMP.M.FF- K3.2020	0.5 m/s to 30 m/s	参加	Draft B
CCM.FF- K3.2025	風速	LDA フリンジ間隔	参加	測定中				

## CIPM基幹比較及びAPMP基幹比較





	CIPM	基幹比較(C	IPM KC)		APMP	基幹比較( <i>F</i>	NPMP KC	)
名称	量	範囲	NMIJ 対応状況	状況	名称	範囲	NMIJ 対応状況	状況
CCM.FF- K4.1.2011	体積	20 L and 100 mL	不参加	同等性承認	APMP.M.FF- K4.2022	20 L and 100 mL	不参加	計画中
CCM.FF- K4.2.2011	体積	100 μL	不参加	同等性承認	APMP.M.FF- K4.2.2021	100 μL	不参加	計画中
CCM.FF- K4.2.2025	体積	100 μL, 50 μL, 10 μL,	不参加	測定中				
CCM.FF- K5.2021	高圧 気体流量	65 m <sup>3</sup> /h to 1450 m <sup>3</sup> /h 0.1 MPa to 8.8 MPa	参加	測定中	APMP.M.FF-K5P			
CCM.FF- K6.2011	低圧 気体流量	$2 \text{ m}^3/\text{h to}$ $100 \text{ m}^3/\text{h}$	参加	同等性承認	APMP.M.FF- K6.2018	$2 \text{ m}^3/\text{h to}$ $100 \text{ m}^3/\text{h}$	不参加	Draft A
CCM.FF- K6.2017	低圧 気体流量	2 mL/min to 10 L/min	参加	同等性承認	APMP.M.FF- K6.2024	1 L/min to 10 L/min	参加	測定中





## **APMP** supplementary comparison (APMP SC)

名称	量	範囲	NMIJ 対応状況	状況
APMP.M.FF- S1.2015	水流量	200 m <sup>3</sup> /h to 2000 m <sup>3</sup> /h	参加	同等性承認
APMP.M.FF- S2.2016	水流量	$0.5 \text{ m}^3/\text{h to} \\ 30 \text{ m}^3/\text{h}$	参加	Draft B
APMP.M.FF- S3.2020	水流量	0.6 kg/min to 120 kg/min	参加	Draft B

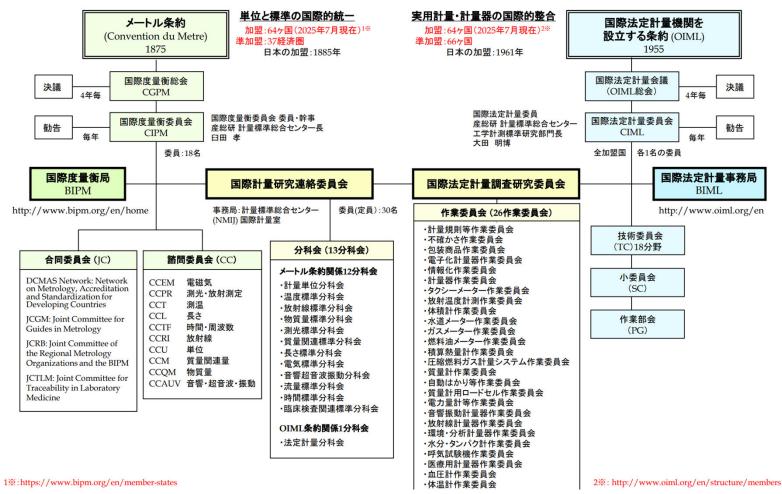
### 国際計量研究連絡委員会





#### 国内对応委員会模式図

"メートル条約" 及び "国際法定計量機関を設立する条約" に基づく国際組織と国内対応委員会



## 国計連 流量標準分科会メンバー





名前	役割	所属
嶋田 隆司	委員長	産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門
古市 紀之	幹事	産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 液体流量標準研究グループ
吉村 紀之	委員	島津システムソリューションズ株式会社
若松 武史	委員	株式会社オーバル
古屋 宏樹	委員	アズビル金門株式会社
小島 孔	委員	一般社団法人日本計量機器工業連合会
勝田 敏江	委員	一般社団法人日本電気計測器工業会

## 今後の予定



- 流量計測クラブ(年に1回程度開催)において、CCM/WGFF及びAPMP/TCFF の会議内容を産総研より報告します。(国際計量研究連絡委員会流量標準分科 会として)
- 国際委員会へのご希望などがあれば、随時受け付けます。
- 必要に応じて、流量標準分科会を開催します